



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区まちづくり協議会

連絡先
志津南市民センター (563-6206)

まち協だより

第9回理事会 (25年1月5日)

- ①まちづくり協議会の組織の改正について次の通り了承された。
 - 1) 「若草地区町並み保存委員会」を本部の一部局とする。
 - 2) 集会所管理に関して、「若草地区集会所管理委員会」として、本部の一部局とする。
 - 3) 「少年補導委員会」を「子ども育成G」に加える。
 - 4) 「広報局」を「広報委員会」に、「ふれあい推進委員会」を「ふれあい推進委員会」に、「人権教育委員会」を「人権教育推進委員会」に、それぞれ改称する。
- ②まちづくり協議会の会費について、年度の中途に転出・転入がある場合は、半期ごとに精算するものとし、会則の改正により明記することとした。
- ③地域ふるさとづくり交付金事業について、現在のところ理事・監事・まちづくり行動計画特別委員会から10件の提案があるが、広く住民の皆さんからも募集し、多くの提案の中から適切なものを選定することとした。
- ④まちづくり行動計画特別委員会の答申書が12月に提出されたが、その内容についての説明会を、次年度の理事予定者も含めて、3月に開催することとした。

地域の支えあい・ふれあいの拠点として、ふれあいハウスの「絆」は昨年2月5日の開所から一年を迎えました。この間の利用者は4500人を超えました。



「絆」でくつろぐ子どもたち

一階の喫茶でコーヒーを飲みながらの談笑や、二階の子育てコーナーでの多世代交流・子育て支援や麻雀交流、などを通して新しい出会いを見つけ、ふれあいを深めておられます。

一方、高齢者支援活動である日常生活のサポートでは、垣根剪定12軒、網戸の張り替え、電球の交換、パソコンの修復、電気スタンドの修理など9件のご依頼にお応えしてきました。「絆」では、皆様のふれあい支えあいの拠点として、気さくにご利用していただけるよう歌声喫茶や紙芝居、懐かしの映画会、麻雀大会などのメニューを提供し、楽しんでいただいています。最近では「語りカフェ」もメニューに加え、趣味の同好会の広がり、ふれあいの場として利用してもらっています。

このような志津南地区における方も徐々に増え、訪れてきた方も気楽でアットホームな雰囲気になじみ、繰り返し訪れられるようになってきました。子どもたちも自然に遊びに来るようになり、開所時お母さんに連れてこられていた子どもも、「絆」をリクエストするようになり喜んで来ています。また、高齢者とのふれあいも進み、地域による子育て支援にもつながっています。



わきあいの歌声喫茶

多彩なメニューが人気呼ぶ

地域に浸透、ふれあい深める

「絆」の利用者延べ4500人に

ふれあいハウス「絆」はボランティアの方に支えられて運営されています。ボランティアは、「出来るときに、出来ることを、無理せずに」をモットーに行っています。開設当時は50人ほどでしたが、活動に共感する方が少しずつ増え、現在は約70人。この地域は、少子高齢化が急速に進み、5年後には高齢化率34%の超高齢社会になると予測されています。このような少子超高齢社会に対応できるような、1年間の経験を活かし活動内容を充実させて、今後もより安心して暮らせる地域づくりのお役に立ちたいとスタッフ一同力を合わせて取り組んでいきます。話をさせていただくことで生きがいや力をいただいています。地域の皆さまと支えあい、支えられ絆を深める場所として、楽しく利用していただくことを願っています。

子ども会資源回収

- 10月21日・11月4日
- 若草一丁目〜五丁目
- 10月28日・11月11日
- 若草六丁目〜八丁目
- 岡本町西・グリーンピア
- 回収品
- 古新聞(チラシと一緒に)
- 古雑誌・段ボール・古着
- ☆朝9時まで自宅前へ

恒例の左義長、和やかに



まちづくり協議会の今年度最後の行事、新年恒例の左義長が1月13日、若草中央児童公園で行われました。写真は当日は曇り空でしたが時々日がさす、風もあまり強くない左義長日和となりました。飛鳥都市開発、ボランティア「泉」、子ども会の協力を得て準備を進め、当日は各町内会の副会長さんをはじめ各役員の方々にも参加していただきました。

おかげで参加者は250人

を越え、それぞれがお正月の飾りつけやお札、破魔矢、子どもたちの書き初めなどを炎の中に投げ込み、

この一年の無事を祈りました。

会場では、ボランティア「泉」のみなさんが甘酒を、子ども会がホットカルピスをサーブし、寒い中、参加した大人からも好評で、子どもたちにはお菓子の詰め合わせが配られました。

また、まちづくり協議会からお酒も振る舞われ、左義長の火で暖を取りながら新年のあいさつを交わすなど和やかなひとときをすごしました。

左義長は地域に根ざした新年

開園当時に比べて女性の社会進出の増加や、南草津駅周辺の人口流入により、草津市内の待機児童が年々増加してまいりました。本園を希望される方も多く、現在の園舎では受け入れさせていただくことが出来ず、ロクハ公園スポーツ広場の横に、



がんばって 書き初め大会

の行事として、また住民のふれ合いの場としてこれからも引き続き開催していきたいと思いま

毎年恒例の志津南地区子ども会の書き初め大会が1月5日、志津南市民センターで行われました。写真は、当日は40人の小学生が集まり、とても賑やかな大会となりました。

若草三丁目の西口青咲先生と先生のお手伝いに駆けつけた地区子ども会の先輩でもある大学生の川道大輔さん(六丁目)と太田夕貴さん(五丁目)らの指導を受けながら、子どもたちは一字一字真剣な表情で筆を走らせていました。

西口先生から「今年はみんなていねいに書くことに集中して、配られた書き初め用紙を最後まできちんと書いていました。昨年よりもさらに上手に書こうと頑張って書いていました」とお褒めの言葉を頂きました。

初めて筆を持つ子どもに、先生らがていねいに指導、おかげで素晴らしい作品を市民センターに飾ることができました。

また、草津市子ども会主催の審査会では草津市コミュニティ事業団理事長賞に正野宏樹君(4年生)の作品が選ばれたほか、6人が金賞や銀賞などを受賞しました。

西口先生をはじめ、お手伝い

るので、多数の参加をお願いいたします。

ご協力いただいたみなさんありがとうございました。

(左義長実行委員会)

まちづくり協議会 各町内会の総会

まちづくり協議会および各町内会総会の日程が次の通り決まりました。

会場はいずれも志津南市民センター(公民館)です。



皆様も既にお聞き及びのことと存じますが、若草くるみ保育園は3月末をもって、追分町

地先に移転することになりました。「光陰矢の如し」と申しますが、昭和61年4月にグリーンヒ

くるみ保育園移転で理事長が謝辞

に歩んでまいりました。

初代園長の木津良子、林行雄、片島京子、そして現在の服部登志夫と交代する中で、900人を超える子どもたちが巣立ち、今は学業に、また、社会人として、あるいは父母となり、それぞれに希望に満ちた人生を歩んでおられます。

開園当時

に比べて女性の社会進出の増加や、南草津駅周辺の人口流入により、草津市内の待機児童が年々増加してまいりました。本園を希望される方も多く、現在の園舎では受け入れさせていただくことが出来ず、ロクハ公園スポーツ広場の横に、

自然豊かな緑の波のような風景の中で次世代を担う子どもの成長を願って、緑波(リヨクハ)くるみ保育園」と名付けました。

0歳児から2歳児までのお子さんの希望が多いため、主にご年齢層の定員を増加し、子育

最後にりましたが、地域の皆さん方には長年ご支援、ご協力をいただきましたことを心からお礼申し上げます。

(理事長 木津良忠)

※受付はいずれも開始の20分前です。詳しくは事前に配布される総会案内をご覧ください。

- 3月23日(土) 若草5丁目 10時から
- 3月24日(日) 岡本町西 13時から
- 3月24日(日) 若草6丁目 15時から
- 3月24日(日) 若草7丁目 10時から
- 3月30日(土) 若草2丁目 10時から
- 4月6日(土) 若草1丁目 10時から
- 4月13日(土) 若草4丁目 13時から
- 4月21日(日) 若草8丁目 13時から
- 4月21日(日) 若草3丁目 10時から
- 4月28日(日) まちづくり協議会 10時から

話とギターで人権講座

志津南地区人権教育委員会と志津南市民センター(公民館)合同の町内学習懇談会結果報告会と人権講座が1月26日、同セ



ンターで開かれ、62人が参加しました。写真。

各町内会から10月に行われた学習懇談会の結果が報告され、各人権教育委員がそれぞれの取り組みを発表しました。今年度の町内学習懇談会には全体で155人が参加しました。

このあと、「感じてみよう人権」と題し、ギター演奏者の立岡勇一さんのお話とギター演奏。立岡さんは「一人では何も出来ないが、みんなで力を合わせれば出来る、当たり前の毎日、

そこからスタート」など、阪神大震災、東日本大震災などの経験をを通して人と人とのふれあいの大切さを話しました。

自分自身が毎日を暮らしてやすするために、人権学習があり、「人と人を結びつけるのが人権、人と人を離すのが差別」「社会がわるいと言っけれど、自分自身がその社会の一員だ」「自分が楽しければ回りが楽しい」「自分自身を見つめなおす事が人権」「その人の立場になる事は難しいが近づくと可能」など人権に対する思いがギター演奏の歌詞や語り込められてい

ました。参加者からは、「感動し、参加してよかった」とコメントし

スクール・ガードが二度目の表彰

スクールガードの皆さん



てくたさる方もありました。差別をなくし、人権が守られる社会を築くために、日々の生

志津南地区安全パトロールグループ・スクールガード(和田基代表)が1月19日に開かれた第2回草津市PTA大会で平成20年に次いで二度目の表彰を受けました。

表彰されたのは「地域、学校における子どもの健全育成、地域委員のリーダー等」に貢献のあった個人と1団体で当地区のスクール・ガードと志津南小学校地域委員リーダー、西尾昌子さんです。

草津市・滋賀県民税の申告、所得税の申告(確定申告)などの申告相談が2月25日、志津南市民センター(公民館)会議室で行われます。相談時間は13時~15時30分です。ご利用ください。詳しくは、広報さつ2月1日号をご覧ください。

2月25日に税の申告相談

活の中で一人ひとりの認識と実践が大切であることを学ぶことができたと思います。

お知らせ

志津南市民センターは、次の要領で「高齢者等ついで推進事業」を実施します。

2月23日(土) 一時半から「私が若者に伝えたいことは？」をテーマに映画「二重爆」を上映します。

3月9日(土) 一時半から「チャンゴを」をたいてみませんか!

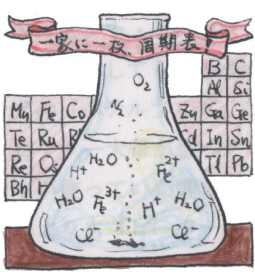
韓国の伝統楽器の演奏で体験もできます。皆様の参加をお待ちいたします。

言葉の葉こぼれ話

「は」と「が」

大分以前のことで、ある新聞の家庭欄に、小学校のある授業で「水が溶けたら何になりますか」という問いにどの子も「水になります」と答えたが、「春になります」と答えた子が一人いて、先生から罰点をもらった。なかなか創造的でない答えだと思っただが、なぜ駄目なのだろうと

この「は」と「が」の使い分けに注意しなくてはなりません。総じて理科の学習書の文章は理解しにくい書き方になっているものが多いようです。かつて高校の教科書の「環境汚染」に、「カドミウムや銅に汚染された水田」という記述が見られました。学者間ではこれらが「水溶性金属化合物」ないし「金属イオン」の意味であることは常識ですが、少なくとも中学校・高校の子供達は「水田に銅がばらまかれているのか」と思うに違いないのです。



「水は溶けたら、それ(水)は何になるか」という意味になり、水の性質が主題になります。このように理科の文章では

現在の教科書の実情は知りませんが、かつての理科の教科書がもっと適切で分かりやすい文章でつづられていれば、理科嫌いも少しは減ったのではないのでしょうか。

センター試験が共通一次と呼ばれていたころ、「鉱山から銅や比素を含んだ水が川に流れ込み」という文章での「銅」は「元素名」「単体名」のどちらの意味に用いられているか、という問題文がありました。正答はもちろん「元素名」ですが、そもそもこのような出題があることが、高校の授業で用語の厳密な使い方がなされていない実情を見透かしていたとも受け取れるのです。

安全パト「スクール・ガード」は現在12人のメンバーで児童の登下校の安全・防犯活動を実施して、特に地域内の交通量の多い交差点等を重点場所として、朝夕の登下校時に誘導するとともに、防犯活動が続けられています。

第8回やすらぎ学級



やすらぎ学級第8回講座が1月23日、志津南市民センターで開かれ、学級生28人が参加しました。写真。

今回は環境をテーマに、ヨシネットワーク事務局長の鳥飼和夫さんと、よし笛演奏グループ「ロータス」の皆さんをお招きしました。最初に、鳥飼さんから「ヨシを通して琵琶湖や環境を考える」と題して、琵琶湖の環境や

現状について話を聞き、また、親子向けの環境学習で使用されている、ヨシを使った「輪差し」やファンパイプなどのおもしろい実物を見せてもらいながらの説明に、学級生は興味深く見入っていました。後半は、7月に結成されたばかりの草津のよし笛演奏グループ「ロータス」の皆さん、総勢

カルタで遊んだ！

高齢者等のつどい事業・地域協働学校・わんぱくプラザ南っ子共同事業「マジックで楽しく！&カルタで遊ぼう！」が1月26日、市民センターで行われ、市民センターで行われ

第1部のマジックでは、草津迷術会さんをお招きして、マジックの鑑賞・体験を行いました。子どもたちはマジックのタネを明かそうと興味深く見入り、



地域の方々はそのような子どもたちを見守りながらマジックを楽しみました。

20人によるよし笛演奏で「早春賦」など5曲が披露され、よし笛について説明を受けた後に「ふるさと」「ゆうやけこやけ」などを演奏に合わせてみんなと一緒に歌いました。琵琶湖の環境やヨシについて、知識や理解を深めながら、楽しく有意義な時間を過ごしました。

野菜をおいしく

第2部のカルタ遊びでは、学年ごとに7班に分かれ、地域の方が読み手をしました。子どもたちはカルタに向かって勢よく取りながら遊び、にぎやかな時間となりました。3年生以上は百人一首を行い、教えてもらいながら「お」を、「え」「ま」などの違いに戸惑いながらも札を探しました。子どもたちと地域の方が一緒に過ごし、世代の違う年代の交流となりましたが、みんな笑顔で札取りに白熱しながら百人一首を楽しみました。

健康推進員は2月23日(土)料理講習会を開催します。子どもたちが野菜をおいしく食べてくれるようなメニューを計画しました。また簡単に出来る手作りデザ

折々の記



トもお楽しみです。保護者の皆さん、また料理に興味のある子どもさんの参加をお待ちしています。

志津南小学校は6年生を対象に、毎年「戦争と平和」について学ぶため広島原爆ドームを見学、学校においては「戦争体験を語る会」を開催しています。今年度も24年11月14日、戦前、戦中、戦後を体験した3名(奥田隆三、林茂、和田基)が約70年前の記憶をもとに、戦争中の生活や当時の学校の様子について児童たちの質問を受けながら体験を語る会を開きました。

戦争と平和

何年も前から続いている会ですが、年々先生方も子どもたちも熱心に取り組んでいただき、次々と質問も出て充実した時間を過ごすことができました。先日その学習会に参加してくれた6年生児童から、当日の感想文が届きました。

【問い合わせ先】小早川敏子 (5663-8663)

「戦争中の話しをしてくれてありがとうございました。もう二度と戦争はしてはいけなと思います。この思いをずっと忘れないで伝えていきたいと思えます」「戦争は家族を失ったり、友達を失ったりを考えるのも恐ろしいことが起こっていました。戦争はやってほしくない、したくない、戦争のない平和な世の中を築いていきたい」「今も世界のどこかで、戦争が起きている。悲しいことが起きます。これから私は平和を伝えるためにどんなことが出来るのかを考えてみたい。」

- 2月16日(土) わんぱくプラザ南っ子餅つき大会 10:00~12:00 健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
2月23日(土) 社会奉仕 8:45 若草中央公園集合 健康推進委員 9:00~(スケジュール表記入)
2月25日(月) 税の申告相談日 10:00~15:00 市税務課
2月26日(火) 地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30
2月27日(水) やすらぎ学級 13:30~17:00
3月1日(木) ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
3月2日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
3月12日(火) 地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30
3月13日(水) やすらぎ学級閉講式 9:00~17:00
毎週金曜日 ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00~12:00 若草第五集会所
印の場所は志津南市民センター(公民館)です

その感想文を読み、私たち3人が当時の思い出を語った話を、真剣に聞き、取り組んでくれていることに感動し、大変有意義であったと喜んでいきます。その感想文の一部を披露したいと思います。
6年生ほとんどの児童が、戦争の醜さ、恐ろしさ、怖さ、悲しさを感じ、家族や友人の大切さを感じてくれました。また、この気持ちを自分たちだけだけでなく、次の世代に伝えたいと思ってくれているようでした。
若草の子どもたちは、頼もしく立派に育ってくれています。若草の前途は明るく平和です、そう感じました。(奥田隆三)